

特定健診・特定保健指導の 実施率向上について



全国健康保険協会 兵庫支部

協会けんぽ

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

被扶養者健診受診率向上のための がん検診・特定健診の同時実施について

兵庫支部における健診実施率 実績および今後の目標

【健診実施率】

区分		平成30年度 実績	
被保険者	対象者数	566,729人	
	実施者数 実施率	312,936人 <u>55.2%</u>	全国平均 24.4%
	(内訳)		
	生活習慣病 予防健診	298,559人 <u>52.7%</u>	
	事業者健診	14,377人 <u>2.5%</u>	被扶養者 令和元年度目標
被扶養者	対象者数	175,918人	178,851人 (見込み)
	実施者数 実施率	41,770人 <u>23.7%</u>	44,981人 <u>25.1%</u>
合計	対象者数	742,647人	
	実施者数 実施率	354,706人 <u>47.8%</u>	

令和5年度
特定健診(被扶養者)
実施率目標

35%以上

市町と連携したがん検診と特定健診の同時実施について

平成20年に特定健診が保険者に義務付けられたことにより、協会けんぽの被扶養者は特定健診（保険者実施）とがん検診（市区町実施）を同時受診することが難しくなっている。



県・市区町・協会けんぽとの連携のもと、がん検診と特定健診を同時に受診できる体制を作ること、利用者に受診環境の提供を行い、利便性の向上を目指す。



がん検診、特定健診の同時健診を実施することで、がん検診・特定健診の両方の受診喚起につながり、兵庫県の健診受診率アップを見込める。

兵庫支部の取り組み実績について

現在4市町と連携、協会けんぽよりがん検診・特定健診を同時に利用できる日程について広報を実施中。

市区町	令和元年度勧奨DM送付数
神戸市	36,548名 (10/15送付) 集団健診 177日程
尼崎市	7,386名 (10/21送付) 集団健診 43日程
加古川市	7,693名 (10/15送付) 施設健診
姫路市	14,926名 (9/10送付) 施設健診 17日程

姫路市セット健診事例（平成30年度より開始）

平成29年度

実施日		受診者総数	協会けんぽ 受診者数
6/7	AM	61	7
6/14	AM	63	1
6/21	AM	57	2
6/30	AM	60	3
7/8	AM	62	1
7/11	AM	63	1
7/18	AM	53	2
8/10	AM	55	3
8/16	AM	56	2
8/30	AM	59	3
9/20	AM	60	2
9/27	AM	60	2
10/4	AM	53	3
10/25	AM	64	4
11/1	AM	58	3
11/15	AM	61	3
11/29	AM	60	6
12/6	AM	55	4
1/30	AM	61	6
2/7	AM	57	3
総数	AM20回	1178	61

平成30年度

実施日		受診者総数	協会けんぽ 受診者数
6/5	AM・PM	109	6
6/12	AM	57	1
6/21	AM・PM	100	1
7/4	AM	56	2
7/12	AM	52	1
7/25	AM	61	6
8/22	AM	53	4
8/28	AM・PM	111	4
8/31	AM	61	
9/12	AM	59	4
9/13	PM	41	6
9/26	AM	61	4
9/28	AM	58	2
10/3	AM	58	11
10/24	AM	58	17
10/29	AM・PM	112	29
11/21	AM	62	13
12/13	AM・PM	111	26
1/23	AM	50	13
1/30	AM	51	12
2/6	AM	57	10
2/21	AM	111	29
2/27	AM・PM	57	17
総数	AM23回 PM7回	1606	218

※10/3～
DMで日程広報
(1万件送付)

DM送付後、協
会けんぽ受診者
数が前年と比較
して5.5倍ほど増
加。

5.5倍

資料元：姫路市医師会

AM：特定健診・胃・肺・大腸がんの4種類セット＋肝炎ウイルス検診
PM：特定健診・肺・大腸がんの3種類セット＋肝炎ウイルス検診

今年度からの取り組みについて

R1.9月

- 兵庫県と連名で全市町にがん検診・特定健診同時実施についてのアンケートを実施。

R2.1月～

- 協会と連携可と回答した市町における集団健診について、特定健診・がん検診同時実施についての広報を開始。

R2.4月～

- 年度初めの特定健診案内においても特定健診・がん検診同時実施についての広報を開始。

41市町中4市町連携中、来年度半数(20市町)連携目標。

～まとめ～

がん検診・特定健診の同時受診については県・市区町・実施機関等、各関係機関との連携が必要となる。



協会けんぽの被扶養者にがん検診・特定健診の同時受診の機会を増やすことで、兵庫県全体のがん検診・特定健診の受診率の向上を目指す。



特定保健指導の状況について

～平成30年度第3期の変更点を受けて～

平成30年度の特定保健指導の実績

被保険者	
特定健診受診者数	312,936人※
特定保健指導対象者数	66,202人
初回面談実施者数	13,196人
実績評価者数	8,518人
実施率	12.9%
目標実施率	15.0%

被扶養者	
特定健診受診者数	41,770人
特定保健指導対象者数	2,928人
初回面談実施者数	147人
実績評価者数	114人
実施率	3.9%
目標実施率	3.6%

※内訳 生活習慣病予防健診受診者…298,559人
 事業者健診データ取得者… 14,377人

被保険者 + 被扶養者	
特定健診受診者数	354,706人
特定保健指導対象者数	69,130人
初回面談実施者数	13,343人
実績評価者数	8,632人
実施率	12.5%
目標実施率	14.5%

被保険者の特定保健指導の実施方法

協会けんぽが実施

健診の約2か月後、対象者がいる事業所に案内を送付



日程調整のうえ事業所を訪問^(※1)し、協会けんぽ保健師等が初回面談を行う



委託先の専門機関の保健師等が生活習慣の見直しをサポート

健診機関が実施

健診当日（当日実施対応機関に限る）または後日、対象者に案内



健診機関^(※2)で健診機関の保健師等が初回面談を行う



健診機関の保健師等が生活習慣の見直しをサポート

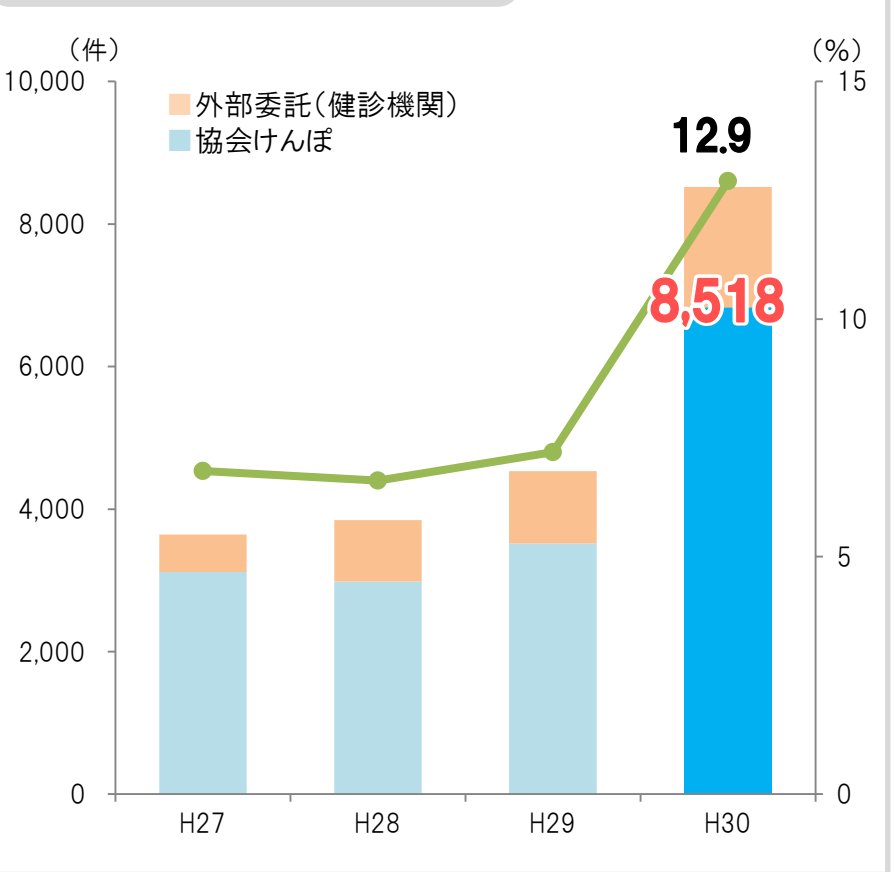
(※1) 公民館等の会場・兵庫支部で初回面談を行う来所型特定保健指導も実施あり

(※2) 後日、事業所を訪問して初回面談を行う健診機関もあり

被保険者の特定保健指導の実施状況

第3期の変更点の積極的な採用で、平成30年度の実績が**大幅アップ**

実績評価件数と実施率



特定保健指導対象者数が増加しているなか平成30年度は、実施率が過去最高結果となった。

	H27	H28	H29	H30
特定保健指導対象者数	53,649	58,350	63,005	66,202
初回面談数	7,957	8,807	9,858	13,196
実績評価数	3,645	3,847	4,531	8,518
実施率	6.8%	6.6%	7.2%	12.9%

第3期特定保健指導の変更点（主なポイント）

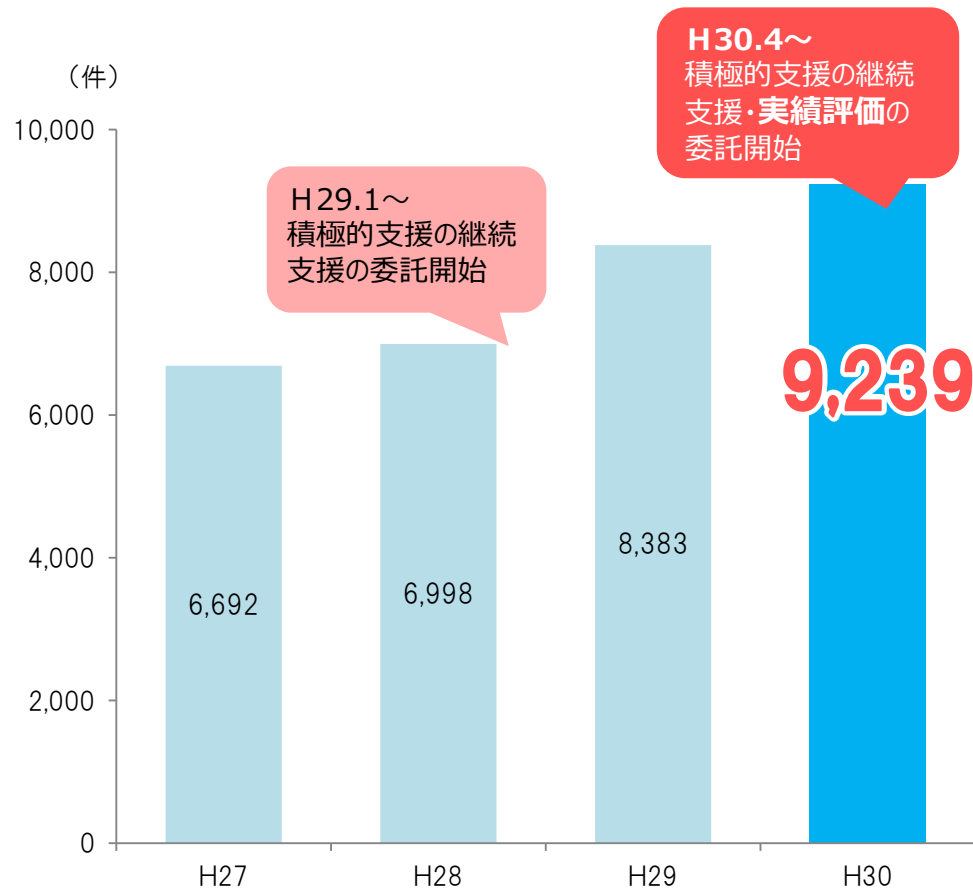
- ① 実績評価時期：6か月後→3か月後でも可とする。
- ② 初回面接と実績評価の同一機関要件の廃止。
- ③ 健診当日に結果が揃わなくても、初回面接の分割実施を可能とする。
- ④ 2年連続して積極的支援に該当した場合、1年目より2年目が改善していれば、2年目は動機付け支援相当で可。
- ⑤ 積極的支援の対象者への柔軟な運用モデル実施の導入。

①～④を積極的に採用し、特に②③に注力

- ②初回面談後の継続支援・実績評価を専門機関に委託した。
- ③既契約機関への実施体制強化の働きかけ、未委託機関に委託に向けた受託勧奨を行った。

(協会けんぽ実施分) 継続支援の委託で初回面談数アップ

支部保健師による初回面談件数の推移



H29.1～ 継続支援の委託開始

継続支援に使用していた時間を初回面談に注力。継続支援ツールにメール支援が加わり、選択肢の幅が増えた。

H30.4～ 実績評価までを委託開始

研修等で初回面談の質向上を図り、更に初回面談に注力。委託機関と密な連絡調整による継続支援の質の確保も図った。

H31.4～ 動機付け支援も委託開始

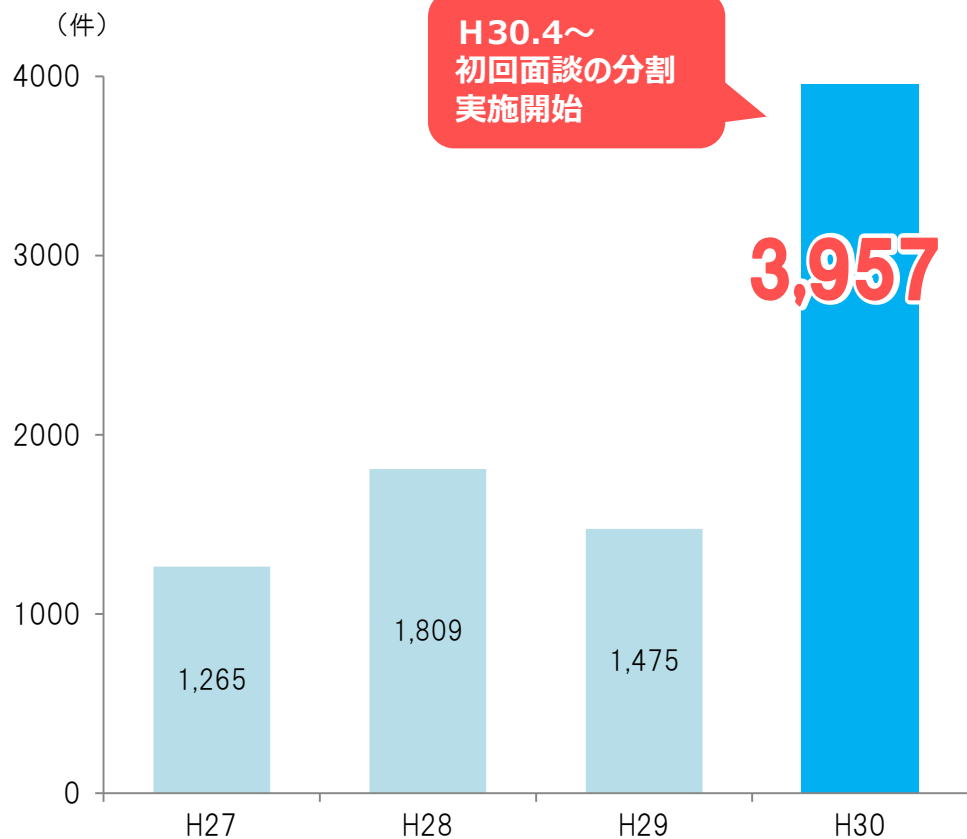
4月～9月の動機付け支援の委託件数**1,946**件。積極的支援の委託件数も同年同時期に比べ増加。

※各年度4月～9月の積極的支援の実績

	H29	H30	R1
初回面談数	2,076人	2,688人	2,920人
初回面談実施率	10.3%	12.6%	16.4%
委託件数	678人	1,291人	1,777人

(健診機関実施分) 初回面談の分割実施で実績アップ^o

委託機関による初回面談件数の推移



制度見直しによるアプローチで委託機関数増加

H29 → H30 → R1
17 → **34** → **35**

令和元年11月現在、**31**機関で当日実施が可能

初回面談当日実施をより一層働きかけ、健診当日の初回面談件数が増加

	当日実施			後日実施	合計
	初回一括	初回分割			
H29	200	200	—	261	461
H30	772	701	71	226	998
R1	1,428	769	659	196	1,624

※各年度の4月～7月の初回面談実施状況を比較
 (実施月ベース：請求書を集計)

課題 ～さらなる実施率の向上に向けて～

- 実施率は上昇しているものの、目標値には至っていないのは、実施事業所数は増加しているものの、**未だ受け入れが厳しい**ことが要因と考える。

保健指導実施事業所数



- 事業所に案内を送付して返答がない場合の電話連絡や、案内の結果、キャンセルになった場合の別事業所への案内の送付は、訪問準備時間も短くなるほか、事務処理負担が大きい。

<参考>令和元年10月の訪問案内結果

キャンセル数

424

訪問事業所数

431

ほぼ同数

受け入れには、事業主および被保険者に対し、更なる特定保健指導の重要性についての意識啓発が必要となる。

対策 ～さらなる実施率の向上に向けて～

協会けんぽ実施分

兵庫支部の広報媒体や研修会以外にも関係団体の広報媒体を使用する等、様々な広報機会を利用し、周知を図る。

事業主・対象者への案内文書、案内方法の検証、見直しを行う。

大規模事業所で受け入れ拒否事業所に対し、訪問等で再勧奨を実施する。

中断要因の傾向を把握し、要因を保健師等に展開し、スキルアップを図る。

健診機関実施分

委託機関によって実績に大きな開きがあるため、個別訪問や健診機関会議等で阻害要因の排除、実施に必要なノウハウを提供する。

委託契約をしていない健診機関にアプローチをかけ、委託機関の拡大を図る。

初回面談当日未実施の委託機関に、当日実施を働きかけていく。

面談時間や場所の確保が困難な対象者がいる事業所に対して、健診機関による健診当日初回面談を推進する。

被扶養者の特定保健指導の実施方法

健診機関が実施

健診当日（当日実施対応機関に限る）
に対象者に案内

健診の約3か月後、
協会けんぽが、ご自宅に特定保健指導
利用券を送付

健診機関（健診会場）で健診機関の
保健師等が初回面談を行う

健診機関の保健師等が生活習慣の見
直しをサポート

尼崎市が実施

<尼崎市在住者のみ>
尼崎市主催の健診日に**健診結果
説明会の参加日を決める**

健診結果説明会で対象者に尼崎
市の保健師等が初回面談を行う

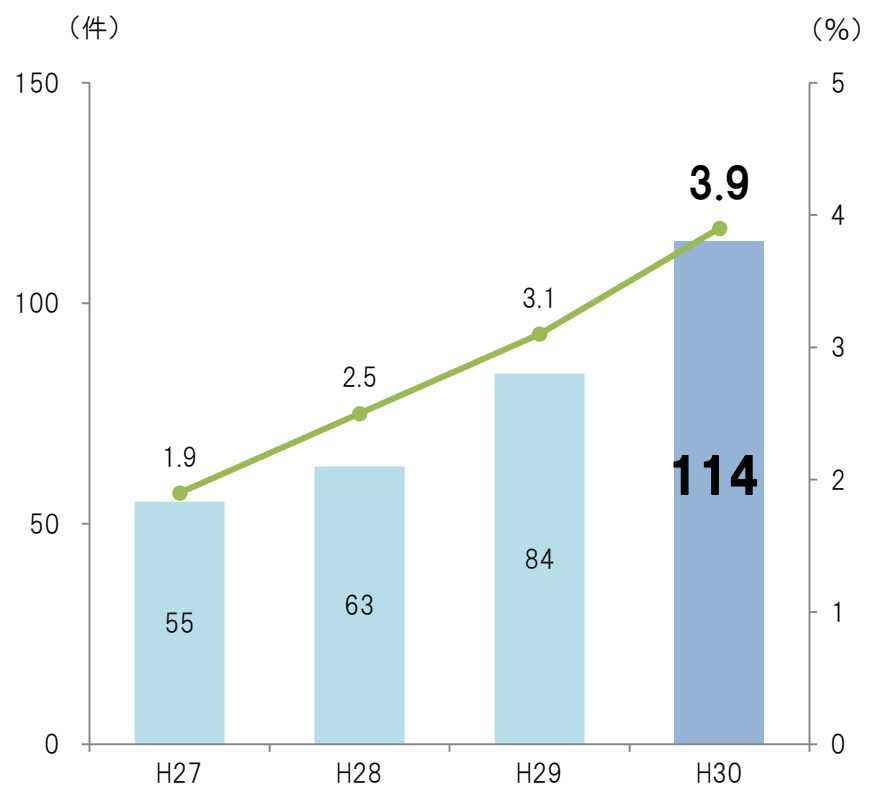
尼崎市の保健師等が生活習慣の
見直しをサポート

特定健診は受診券（セット券）により、集合契約B機関（医師会等）、集合契約A機関（全国的な健診機関グループ）等で実施している。

被扶養者の特定保健指導の実施状況

平成30年度は、受診券と利用券がセットになったセット券の発行の効果もあり過去最高結果となった。

実績評価件数と実施率



H28.4 尼崎市と健康づくりに関する包括協定締結
 尼崎市在住の協会けんぽの被扶養者の特定保健指導を
 尼崎市に委託開始。委託によって一定数の実績を得る。



H30.4～受診券と利用券がセットになったセット券の発行
 開始。初回面談当日実施数が**77件**※あり、初回面談数
 の伸びにつながった。
(※実施月ベース)

	27年度	28年度	29年度	30年度
特定保健指導対象者数	2,824	2,568	2,752	2,928
初回面談数	69	80	115	147
実績評価数	55	63	84	114
実施率	1.9%	2.5%	3.1%	3.9%

被扶養者の特定保健指導の課題と対策

課題

集団健診当日に、特定保健指導が実施できていない。

特定保健指導に関する効果的な広報が実施できておらず、認知度が低い。
必要性が伝わっていない。



対策

協会けんぽ主催の集団健診会場での**当日特定保健指導の推進**。
現在、4の集団健診実施機関と特定保健指導の委託契約に向けて進行中。
1～3月開催予定の集団健診で、初回面談分割実施を行う。

市町国保への特定保健指導委託の推進。尼崎市に委託している特定保健指導の取り組みを、他市町でも展開できるよう働きかける。

利用券送付時の案内文書の見直しその他、兵庫支部の広報媒体以外の様々な広報機会を利用し、周知を図る。

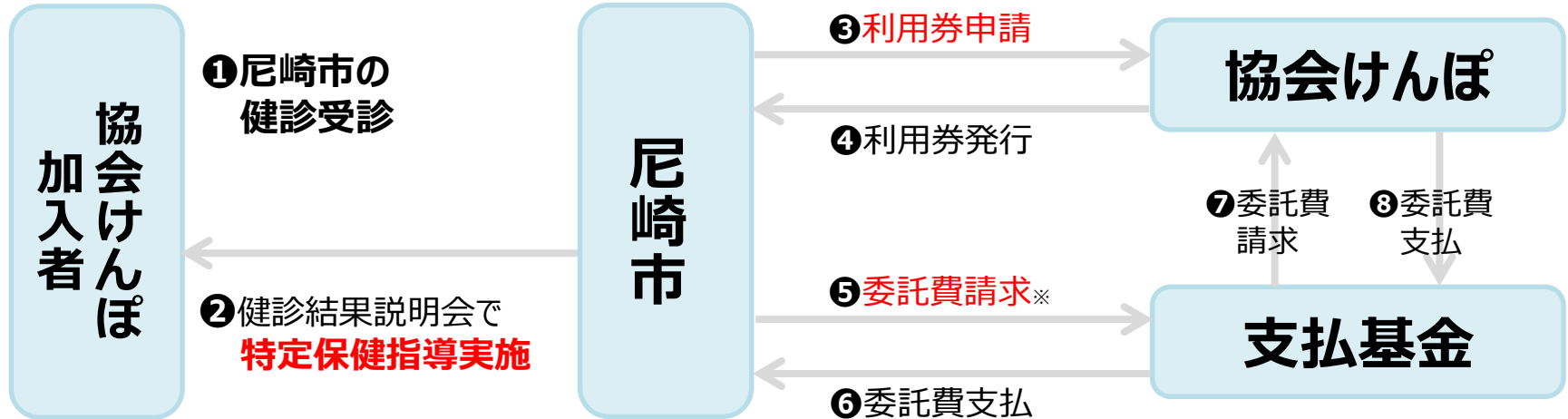
市町への特定保健指導委託について

協会けんぽから尼崎市への特定保健指導の委託は、住民への保健サービスや実施率の向上が現われており、他の市町とも推進していきたい。

- ### 市町のメリット
- 「市民（町民）」という枠組みでアプローチできる
 - 国保加入前から早期に重症化の予防ができる

- ### 協会けんぽのメリット
- 市民（町民）と距離が近い自治体の協力で実施率アップ

実施フロー(尼崎市の場合)



※結果データ（CD-R）と請求書と合わせて提出

ご清聴ありがとうございました。

